

授業科目名		対象学科・専攻	年次	期別
音楽科指導法 Teaching Methods of Music		児童教育学科 初等教育学専攻	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	教員免許状取得 必修/選択必修	担当教員	担当形態
講義	2	必修	山崎 凱千	単独

科目	施行規則に定める科目区分又は事項等
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）
<p>○コアカリキュラム：各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）</p> <p>全体目標：当該教科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身に付ける。</p> <p>（1）当該教科の目標及び内容</p> <p>一般目標：学習指導要領に示された当該教科の目標や内容を理解する。</p> <p>到達目標：1）学習指導要領における当該教科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。 2）個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。 3）当該教科の学習評価の考え方を理解している。 4）当該教科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。</p> <p>（2）当該教科の指導方法と授業設計</p> <p>一般目標：基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身に付ける。</p> <p>到達目標：1）子供の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 2）当該教科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し授業設計に活用することができる。 3）学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。 4）模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。</p>	

<b>【全体目標及び概要】</b>	
<p>学習指導要領における小学校教科音楽の目標を概説し、音楽教育の現状と問題について考察する。 指導案の作成方法を学ぶことにより授業展開の方法を学ぶ。 模擬授業を演習実習し、実践的な技能の伸長を図る。</p>	
<b>【一般目標及び到達目標】</b>	<b>コア目標対応</b>
（1）生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す指導計画を立案する研究をする。	（1）-1）、2）、3）
1）題材など内容や時間のまとまりを見通して、児童の主體的・対話的で深い学びの実現が図れるような計画を立てられるような配慮ができる。	（2）-1）
2）学校内・校外の諸行事を見通して、長期的指導計画を立てることができる。	（1）-1）、2）、3） （2）-1）
3）他者との協働を尊重し合いながら、表現する音楽を模索し合う過程を大切に指導計画を考えることができる。	（2）-1）、2）、3）
（2）生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す授業展開を考察。さらに ICT 等の活用により仮想体験を味わえる展開が考察できる。	（1）-1）
1）他教科等との関連を積極的に図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置づけ、豊かで幅広い授業展開ができるよう工夫した計画ができる。	（2）-1）、2）
2）指導のねらいに即して身体を動かし表現させたり、情報機器や教育機器の活用方法を模索したりし、深く多様で幅広い体験をさせる授業展開を考えることができる。	（1）-1）、2） （2）-2）、3）
3）自分たちが作った曲を大切にさせることにより、著作者の創造性を尊重し、音楽文化の継承、発展、創造を支える素地になることに気がつく展開を考えることができる。	（1）-3）、4） （2）-2）、3）
（3）音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す指導案の作成を模索する。	（1）-3）、4） （2）-3）、4）
1）題材、題材研究、題材設定の理由を、多岐にわたり精査することができる。	
2）ねらい、展開、振り返り等授業展開のあり方を学ぶことができる。	（2）-3）、4）
3）他者の模擬授業を評価することにより、自分自身の授業の指導案作りの参考にできる。	（2）-3）、4）

回数	音楽科指導法 授業内容 【山崎凱千】	到達目標の番号	コアカリキュラム対応項目
1	学習指導要領「音楽」の概説・音楽科教育の目標	(1)、 (2)、(3)	(1)-1)、2)、3)、4) (2)-1)、2)、3)、4)
2	年間指導計画の立案の考え方	(1) - 1)、 - 2)、 - 3)	(1)-1)、2)、3) (2)-1)、2)、3)
3	歌唱共通教材の授業展開の考え方	(2) - 1)、 - 2)、 - 3)	(1)-1)、2)、3)、4) (2)-1)、2)、3)
4	指導案の作成① 目標、概念	(3) - 1)、 - 2)、 - 3)	(1)-3)、4) (2)-3)、4)
5	歌唱共通教材模擬授業① 1年「うみ」「かたつむり」「日のまる」 - ICT 機器の活用 (CD デッキ、画像の提示、授業の録画) -	(2) - 1)、 - 2)、 - 3)	(1)-1)、2)、3)、4) (2)-1)、2)、3)
6	指導案の作成② 題材、題材研究、題材感、	(3) - 1)	(1)-3)、4) (2)-3)、4)
7	歌唱共通教材模擬授業② 1年「ひらいたひらいた」 2年「かくれんぼ」「春がきた」 - ICT 機器の活用 (CD デッキ、画像の提示、授業の録画) -	(2) - 1)、 - 2)、 - 3)	(1)-1)、2)、3)、4) (2)-1)、2)、3)
8	指導案の作成③ 題材の指導計画	(1) - 1)、 - 2)、 - 3)	(1)-1)、2)、3) (2)-1)、2)、3)
9	歌唱共通教材模擬授業③ 2年「虫のこえ」 「夕やけこやけ」 3年「うさぎ」 - ICT 機器の活用 (CD デッキ、画像の提示、授業の録画) - ビデオ録画自己批評	(3) - 1)、 - 2)、 - 3)	(1)-3)、4) (2)-3)、4)
10	指導案の作成④ 本時の目標、ねらいの設定	(3) - 2)	(2)-3)、4)
11	歌唱共通教材模擬授業④ 3年「茶つみ」「春の小川」 「ふじ山」 - ICT 機器の活用 (CD デッキ、画像の提示、授業の録画) -	(3) - 1)、 - 2)、 - 3)	(1)-3)、4) (2)-3)、4)
12	指導案の作成⑤ 授業展開の方法	(2) - 2)	(1)-1)、2) (2)-2)、3)
13	歌唱共通教材模擬授業⑤ 4年「さくらさくら」 「とんび」「まきばの朝」「もみじ」 - ICT 機器の活用 (CD デッキ、画像の提示、授業の録画) - ビデオ録画相互批評	(3) - 1)、 - 2)	(1)-3)、4) (2)-3)、4)
14	指導案の作成⑥ 模擬授業の録画映像を見て、工夫・改善点をまとめる	(3) - 2)、 - 3)	(2)-3)、4)
15	歌唱共通教材模擬授業⑥ 5年「こいのぼり」「子守歌」 「スキーの歌」「冬げしき」 - ICT 機器の活用 (CD デッキ、画像の提示、授業の録画) - 評価、振り返りの方法	(2) - 1)、 (3) - 2)	(1)-1) (2)-1)、2)、3)、4)
定期試験	実施しない		
成績評価 方法	指導案作成(思考・判断) 50%、 模擬授業(準備・表現・技能) 30% 他者模擬授業評価レポート(知識、判断) 20%		
テキストおよび 参考文献	『音楽科教材研究』山口短期大学 『初等科音楽教育法・小学校教員養成課程用』音楽之友社 『小学校指導要領(平成29年告示)解説 音楽編(平成29年7月 文部科学省)』東洋館出版		
メッセージ な	教育現場に通じる指導法を会得するために指導案の作成をし、実際の授業を模擬体験してみる。音楽の実力が必要であることはもちろんであるが、他者の模擬授業を評価することなどをおし、さらなる資質のレベルアップを図りましょう。		

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1)-1) 題材など内容や時間のまとまりを見通して、児童の主体的・対話的で深い学びの実現が図れるような計画を立てられるような配慮ができる。	全般にわたって完璧に近い計画を立てられる。	大きな考え違いがなく計画が立てられる。	自分の考えのみではあるが最低限の授業計画が配慮できる。	配慮できていない。	レポート作成	10%
(1)-2) 学校内・校外の諸行事を見通して、長期的指導計画を立てることができる。	年間を通しての計画がほぼ完璧に立てられる。	大きな考え違いがなく計画が立てられる。	最低限の長期的指導計画が立てられる。	計画が立てられない。	レポート作成	10%
(1)-3) 他者との協働を尊重し合いながら、表現する音楽を模索し合う過程を大切にしている指導計画を立てることができる。	過程を大切にしている指導計画が考えられる。	大きな考え違いがなく計画が立てられる。	計画だけは考え、立てることができる。	考えることができない。	課題レポート	10%
(2)-1) 他教科等との関連を積極的に図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置づけ、豊かで幅広い授業展開ができるよう工夫した計画ができる。	工夫した計画に基づく指導案を作成することができる。	大きな考え違いがなく計画が立てられる。	豊かで工夫した計画には至らないが、最低限の計画はできる。	計画ができない。	課題レポート	10%
(2)-2) 指導のねらいに即して身体を動かし表現させたり、情報機器や教育機器の活用方法を模索したりし、深く多様で幅広い体験をさせる授業展開を考慮することができる。	深く多様な体験をさせる授業展開を充分考慮することができる。	ほぼ間違いない授業展開が考えられる。	勘違いがあるが最低限の授業展開ができる。	深く多様で幅広い考えができない。	模擬授業	15%
(2)-3) 自分たちが作った曲を大切にさせることにより、著作権者の創造性を尊重し、音楽文化の継承、発展、創造を支える素地になることに気がつく展開を考慮することができる。	幅広く豊かな展開を考慮することができる。	大きな間違いない考えにより展開を考慮することができる。	勘違いがあるが最低限の授業展開ができる。	授業展開が考えられない。	模擬授業	15%
(3)-1) 題材、題材研究、題材設定の理由を、多岐にわたり精査することができる。	多岐にわたり精査できる。	充分とは言えないが精査している。	基本を踏まえることができる。	基本が理解できていない。	指導案作成	30%
(3)-2) ねらい、展開、振り返り等授業展開のあり方を学ぶことができる。						
(3)-3) 他者の模擬授業を評価することにより、自分自身の授業の指導案作りの参考にできる。						